



WHO GICC in NAGOYA 2025

小児がんグローバルイニシアティブ

国際シンポジウム

～医療はすべての子どもに平等でありたい～

小児がんは医療の進歩により、先進国では現在80%の5年生存率まで治癒率が高まっています。しかし世界には治癒率が30%以下の国々が多いため、WHOは治療法や診断技術は世界共有の財産であると考え、世界の小児がんの治癒率60%を目指しています。

この講演会では、名古屋大学小児科医による最新の治療法やアジアの国々への支援についてお話しします。

日時：2025年6月28日（土）

13:30 ～ 16:00 ※会場13:00

場所：栄ガスビル 5階ホール

(名古屋市中区栄3-15-33)

問合先：NPO法人名古屋小児がん基金

アドレス info@npcf.or.jp TEL 052-263-6995



主催

NPO法人名古屋小児がん基金
NPO法人小児がん・まごころ機構 (MOCC)

後援

アジア小児がん学会 (SIOP Asia)

後援

アジア小児血液・がん治療
研究グループ (APHOG)

後援

ライオンズクラブ国際協会
334-A地区

後援

厚生労働省
愛知県
名古屋市





プログラム



挨拶

愛知県知事 大村秀章（予定）

NPO法人名古屋小児がん基金理事長 小島勢二

NPO法人小児がん・まごころ機構理事長 中川原章

講演① アジアの国々との医療協力

NPO法人名古屋小児がん基金理事長 小島勢二

アジアコンソーシアム・AYA世代（小児がんサバイバー）の日韓台交流事業
韓国小児がん基金代表 Jong Jin Seo（ビデオレター）

講演② CAR-T細胞療法の開発と海外支援

名古屋大学小児科教授 高橋義行

タイでの実践（ビデオレター）

講演③ 次世代シーケンサーによる遺伝子診断を通じて海外支援

名古屋大学小児科准教授 村松秀城

～ 休憩 ～

講演④ ベトナムでの支援活動

認定NPO法人アジア・チャイルドケア・リーグ代表 渡辺和代

フエ小児病院医師 Nguyen Thi Kim Hoa（ビデオレター）

講演⑤ イラク支援20年

NPO法人セイブ・イラクチルドレン・名古屋事務局長 竹内創

イラク医師（ビデオレター）

挨拶

ライオンズクラブ国際協会334-A地区ガバナー 柴田高志

支援金贈呈